

# ELKの山歩き

## 鷲羽岳・水晶岳(富山)

日程◎平成21年9月1～5日(火～土)

### ◎行程◎

1日 歩行1約時間 曇り

05:30・今治発

13:30・高山IC

15:30・新穂高ロープウェイ

17:00・わさび平小屋一泊

2日 歩行9約時間 晴れ・曇り

05:00・小屋発

09:00・鏡平山荘

10:30・弓折岳分岐

12:00・双六小屋(昼食)

14:30・三俣蓮華分岐

15:30・三俣山荘一泊

3日 歩行8,5約時間 晴れ・曇り

05:30・山荘屋発

07:20・鷲羽岳

08:00・ワリモ岳

09:00・水晶小屋

10:00・水晶岳

11:40・水晶小屋(昼食)

12:30・岩苔乗越

13:40・黒部源流

15:00・三俣山荘一泊

4日 歩行8約時間 晴れ・雨

05:30・山荘発

07:00・三俣蓮華岳

08:30・双六岳

09:30・双六山荘

12:00・鏡平山荘

15:30・わさび平小屋一泊

5日 歩行1約時間 晴れ

06:15・小屋発

07:30・新穂高ロープウェイ

08:00・深山荘(温泉)

10:00・高山IC

19:00・今治着



▲ 鏡平らにて湖面に移る槍ヶ岳とともに



▲ 霧の中から姿を現した鷲羽岳の勇姿

今回は、黒部源流の流れ出す場所、奥深くに堂々と立つ峰々を訪ねてきました。新穂高ロープウェイ登山口からスタート、左俣谷沿いに続く道から小池新道へ進むと本格的な登りへと変化し、玉のような汗がでてきます。3時間ほど頑張つて登ると、槍が写る池で有名な鏡平へ到着。穂先を写す静かな水面が見事でした。稜線へ登り、赤い屋根と鷲羽岳が見えてくれば双六小屋へはもう少し、大休憩を取って巻き道ルートで三俣山荘へ向いました。まだ夜が開けぬ薄闇の中から、槍の姿が浮ぶ景色を楽しんで、鷲羽岳へ向います。急なザレ場を頑張って上がり、奥深き黒部源流の頂に立ちました。ワリモ岳へと続く稜線を歩き、次の目標である水晶岳へ向います。こじんまりした水晶小屋の横を抜け、急峻な岩場の稜線を登り詰めると、北アルプスで最も奥深いといわれる水晶岳に到着です。山頂からは幾通りにも続くアルプスの縦走路と峰々が続き、絶景を楽しめました。今回も、天候に恵まれ、雄大な北アルプスの景色と自然を楽しめた山歩きとなりました。

OUTDOOR SHOP ELK  
HP <http://od-elk.com/>

TEL (0898) 23-7001  
e-mail [info@od-elk.com](mailto:info@od-elk.com)